あすなろ

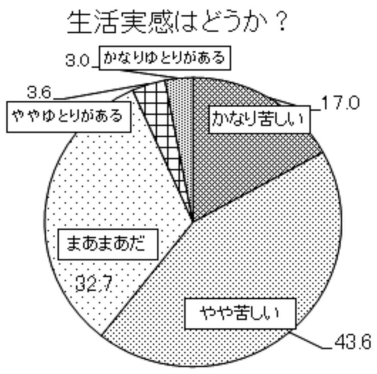
連絡先：電機労働者懇談会気付　沖電気の職場を明るくする会
東京都品川区二葉 2-20-8　染野ビル２Ｆ　電話 03（6421）5323
ホームページ　沖電気の職場を明るくする会　検索→

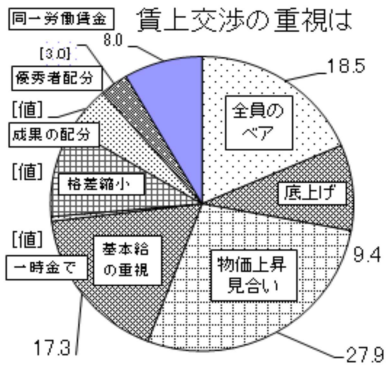
働く人の人権と生活が守られますように

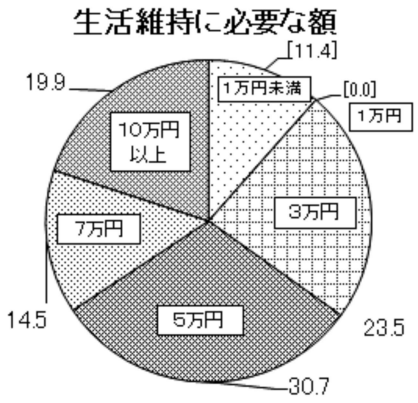
２３年春闘「生活改善要求アンケート」にご協力をお願いします。

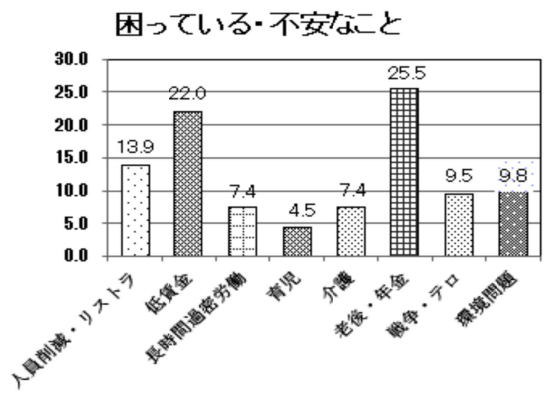
職場の実態と皆さんの要求をつかんで、労働条件の改善に役立てていきたいと思います。沖電気の職場を明るくする会ホーム ページからでもアンケートができます。

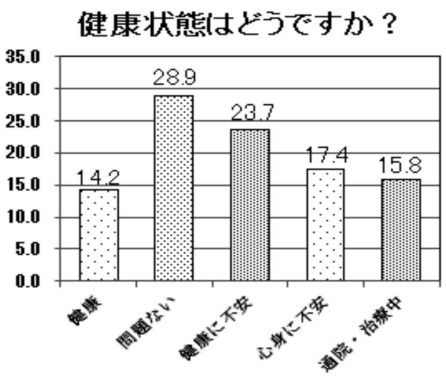
2023　電機「生活改善アンケート」中間結果

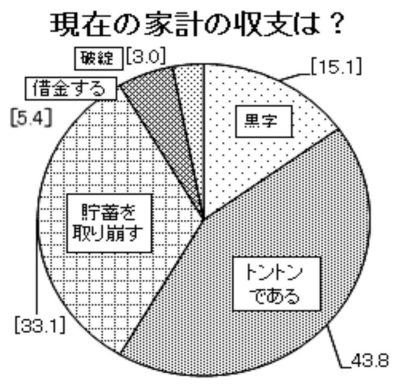












●先ずは、全員にメリットがあるベースアップが重要。現状の一時金査定の格差が大きすぎる上に所属による格差も異常だ。
（ルネサス、正社員、５０歳代の男性）

●高い組合費に見合った成果をお願いします。業績連動なので、大幅なボーナスカットで、昇給も期待はできない。一律の給与アップを勝ち取るようにして下さい。（シャープ、正社員、４０歳代の男性）

●税金や社会保険料が高すぎる。仕事の責任や上長からのフォローなど受ける中で、もっと基本給を上げてほしい。利益率の向上を会社は目指しているが、従業員にももう少し還元してほしいと思う。（日立、正社員、３０歳代、男性）

だれもが人間らしい暮らしと健康で働き続けられる職場を！

軍備の拡大より社会保障の拡充を

昨年は、記録的な物価の値上げが続き生活を圧迫した年でした。ロシアのウクライナ侵略により、原燃料や穀物の国際価格の上昇。急激な円安による輸入価格の大幅な上昇が原因となっています。食品の値上げの品目は、２万件を超え平均値上げ率は14％となっており更に２０２３年の値上げ率は、18％が予想されています。（帝国データバンク調べ）岸田内閣は、軍事拡大のために社会保障を切りすてるなど国民の生活を犠牲にしています。生活できる賃金への引上げと全国一律最低賃金１５００円の実現、社会保障の抜本的な拡充が求められています。

沖電気ははたらく条件の改善を

２年間の中期経営計画が実行されるなか、はたらく環境は悪化をしています。労働組合の意識調査では、４割が「今のままで働くと心の病になるかも」と不安を抱えて働いています。早急な改善が求められています。賃金システムによりマイナスとなる賃金引き下げを凍結するなど物価高騰への対策が必要です。

契約社員の労働条件は「同一労働・同一賃金」の趣旨を踏まえて、リフレッシュ休暇・傷病休職期間・退職金など均衡・均等待遇への改善が求められています。

希望を持って一歩前へ

沖グループで働く皆さん、契約社員・派遣社員のみなさん、要求の実現と生活を守るために、電機・情報ユニオンへ加入をして希望を持って前へ進みましょう。

職場で起きている様々な事や要求について、実現の為に一緒に考え正社員も非正規社員も安心してはたらき続けられる職場を目指していきましょう。

沖電気の職場を明るくする会

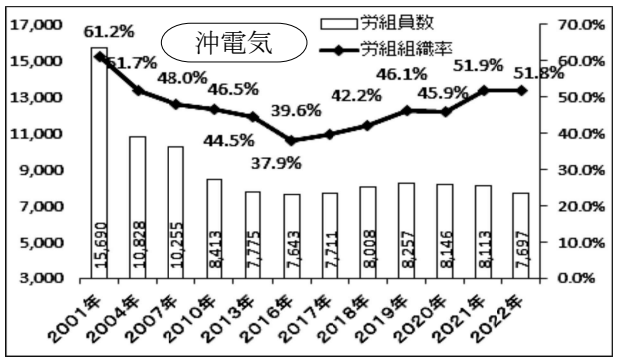
青空

岸田政権は昨年、長引くコロナ禍と40年来で最大といわれる物価高で苦しむ国民生活に悪政で追い打ちをかけるとともに、際限のない国民負担増をもたらす大軍拡へと危険な一歩を踏み出した▼「子供に伝える日本国憲法」（井上ひさし）の第九条「もう二度と戦はしない」でこう書かれている▼私たちは、人間らしい生き方を尊ぶということの世界をまごころから願っている。人間らしく生きるための決まりを大切にするおだやかな世界をまっすぐに願っている。だから私たちはどんなもめごとが起こってもこれまでのように、軍隊や武器の力でかたづけてしまうやり方は選ばない。殺したり殺されたりするのは人間らしい生き方だとは考えられないからだ。どんな国も自分を守るために軍隊を持つことはできるけれど、私たちは人間としての勇気を奮い起こしてこの国がつづくかぎりその立場を捨てることにした。どんなもめごとも筋道をたどってよく考えてことばの限りをつくせばかならずしずまると信じるからである。よく考えられたことばこそ私たちのほんとうの力なのだ。そのために、私たちは戦をする力を持たないことにする。また、国が戦うことができるという立場もみとめないことにした▼今年は、戦力の不保持と生存権の保障を定めた憲法に基づき社会保障を充実させるのか、大軍拡と引き換えに社会保障の破壊をさらに進めるのか、かつてなく鋭く問われる年になる。

《沖電気を考える》第１７６回　労組組織率

電機の組織率の例　２２年３月期有価証券報告書

企業名	従業員数	労組員数	労組員比率
沖電気	14,850	7,697	51.8%
富士通	124,216	58,000	46.7%
明電舎	9,923	4,083	41.1%
NEC	117,418	44,000	37.5%
パナソニック	240,198	89,644	37.3%
オムロン	29,020	7,167	24.7%
安川電機	12,897	3,501	27.1%
横河電機	17,258	1,890	11.0%
ソニー	108,900	公表なし	9.0%
東京エレクトロン	15,634	労組なし	0%
厚生労働省公表：２０２１年度の組織率１６．９％			

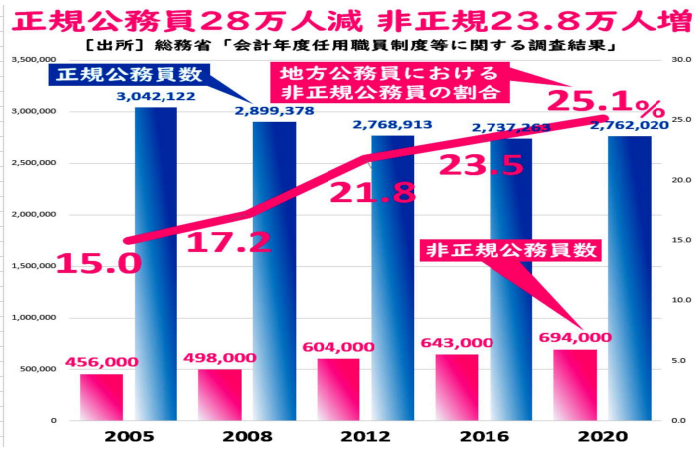


※データには非正規社員数は含まれていない。
厚労省の組織率は全就労者に対する比率

日本の働く環境の改善は非正規対策から
公務員も正規から非正規への置き換え進む

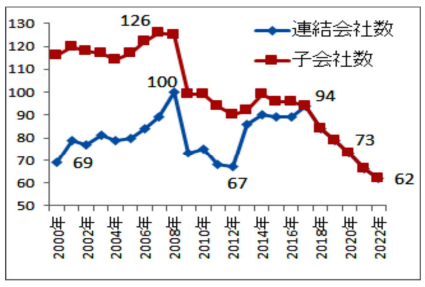
総務省の統計によると２０１９年８月の非正規割合は３割超。沖電気グループの２２年３月期では１４．５％

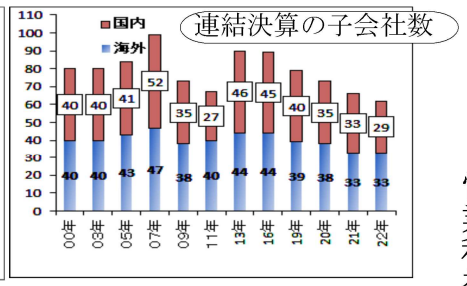
低賃金・不安定雇用の改善で安心して働ける環境を



OKIグループ　過去２２年間　従業員４０％削減　**１４，８５０人**

統廃合進み　子会社126社⇒62社　64社減





OKI　主要国内２８社の２０２２年３月期の決算
黒字化５社　赤字化１社　・赤字継続４社
連結決算は２０．７億円黒字化

●OKIの会社案内記載企業の純損益の推移メモ　▲赤字（マイナス）	2020年3月期 純利益	2021年3月期 純利益	2022年3月期 純利益	
OKI連結	140．86億円	**▲8．19億円**	20．65億円	
OKI単体（提出会社）	168．9億円	12．58億円	**▲37．87億円**	0
OKIアイディエス	**▲1200万円**	500万円	8200万円	1
アダチ・プロテクノ	1350万円	**▲5023万円**	1386万円	2
OKIアドテックサポート	899万円	1267万円	1334万円	3
OKIアレステック	1．35億円	1．47億円	1．27億円	4
OKIエンジニアリング	5．06億円	2．97億円	3．94億円	5
OKIクロステック	43．07億円	38．21億円	37．12億円	6
OKIコムテック	6379万円	2970万円	5308万円	7
OKIコンサルティングソリューションズ	3318万円	**▲1823万円**	1832万円	8
OKIサーキットテクノロジー	5．72億円	3．5億円	9．19億円	9
OKIシーテック⇒OKIコムエコーズ	1．03億円	8469万円	**▲6100万円**	10
静岡OKI　22年4月1日　合併	1．12億円	700万円		
OKIジェイアイピー	3629万円	7090万円	7090万円	11
OKIシンフォテック	1639万円	**▲1888万円**	**▲5601万円**	12
OKIソフトウエア	15．75億円	10．36億円	12．26億円	13
OKIソフトウエアエクスパートサービス	3531万円	4408万円	5328万円	14
OKIデータMES	**▲1416万円**	538万円	9184万円	15
OKI電線	2．71億円	4．55億円	24．84億円	16
OKI電線ワイヤーハーネス	448万円	285万円	680万円	17
OKI東邦電子	244万円	**▲1113万円**	1602万円	18
OKI富岡マニュファクチャリング	2035万円	**▲1．42億円**	9007万円	19
OKIトラステック	2900万円	4100万円	5500万円	20
日本ビジネスオペレーションズ	3．19億円	2．95億円	4．98億円	21
OKIネクステック	－	**▲4．62億円**	**▲4．74億円**	22
OKIハイテック	**▲3424万円**	3350万円	1437万円	23
OKIプロアシスト	1857万円	**▲65万円**	**▲1645万円**	24
OKIプロサーブ	10．21億円	**▲2．88億円**	6800万円	25
OKIマイクロ技研	7217万円	**▲8406万円**	**▲1．1億円**	26
モガミ電線	5934万円	5289万円	8129万円	27
OKIワークウエル	134万円	1009万円	2600万円	28
参考：バンキングチャネルソリューションズ	1．61億円	1．66億円	2．48億円	持分
参考：OKIデータ　OKIに吸収	19年従業員数1．053人			

デジタル時代の構造改革を加速
労働条件のダウンや雇用不安に懸念

修正目標　２３年３月期　売上高４２５０億円
営業利益９０億円　純利益３０億円

ＯＫＩの中期計画（２０２３年３月期目標）では◎メカトロ（ＡＴＭ）・プリンター・ＥＭＳの統合　◎海外生産拠点の見直し　◎子会社の統廃合　◎技術者の融合などの施策で売上高４６５０億円、営業利益２００億円、純利益１２０億円、自己資本比率30％、株主還元30％等を当初に計画。

新型コロナに引き続き注意を

【東京地区】

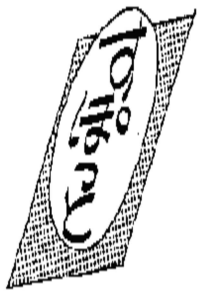
昨年はＯＫＩグループ内でも新型コロナの影響が大きく、特に都内の各拠点は大打撃を受けました。２月に１ヶ月の陽性確定の人数が過去最多となり、この時点で累計人数が、一昨年末と比較して倍近くとなりました。夏にさらに急増し、８月には２月の３倍以上、秋は減少したものの、11月以降に再び急増しています。その影響は今年に入ってからもしばらく続くことが予想されますので、居室内はもちろん通勤時も昨年同様に細心の注意が必要です。

時給を上げてほしい

【埼玉・本庄】

11月の「派遣社員30人大募集」の求人広告には「時給１２２０円～」とありました。現在社内で働く派遣社員の時給との関連はどうなのでしょうか。スキルを問わずこの金額ならば同じ職種内容で働いている派遣社員は同じ金額に上げるべきだと思います。

他にＯＫＩプロサーブが募集する「派遣社員・装置の組み立て検査」は時給１１７０円となっています。派遣会社によって金額の差は生まれてしまうのだと思いますが、５０円違うだけで月に７０００円以上の差。なんでも値上がりしている今の社会、大幅な時給アップは切実です。



時給１５００円に！

【群馬・富岡】

あすなろ４１３号でお知らせした時給１５１０円の「高額時給派遣募集」の情報が職場で話題になっています。契約社員になって10年以上経っても正社員になれず、時給も低いままの社員が「我々の給料も上げて欲しい」と切望しています。以前から働いている派遣社員もほとんどが時給１００円前後で、仕事の熟練度から考えても「今回の募集条件は寮費も無料だ。時給くらい同じにしてもらいたい」と願うのも当然です。

物価の高騰などで生活が苦しく、政府も賃上げを求めています。今春闘での給料の大幅な改善が求められ、労働組合の存在意義が問われる春闘です。

不満と不安、絶えず

【電機・情報ユニオン】

毎年取り組んでいる「生活要求改善アンケート」には様々な声が寄せられている。「評価は標準なのに６年間定期昇給分の賃上げがなく、ベア分も22春闘妥結額の半分しか賃上げされなかった」「正規で３０年近く働いているが、新人と大差ないなんておかしい。物価高にも関わらず組合が積極的に活動しているように思えない」「高評価を頂き有難いと思った矢先に、昇格したら低評価になり収入が激減した。昇格したのは他の若手を高評価にする為の低評価とリストラ要因ではないかと思っている。実際、夏前から部内で数人ずついなくなっている」などなど。今年も切実な要求にこたえるユニオンの出番が続く。